

住民が安心して暮らせるよう 地域の安心・安全を24時間体制で守ります

これまで、さつま町消防本部が単独で行っていた消防指令業務（119番通報の受信・消防車や救急車の出動指令・消防無線の統制等）を、令和7年4月1日より北薩の3消防本部（さつま町消防本部・薩摩川内市消防局・阿久根地区消防組合）が共同で行います。

令和7年
4/1火
運用開始



※ 指令センター イメージ図

ABOUT

これまでと何が違うの？

Q1. 通信指令室はどこにあるの？

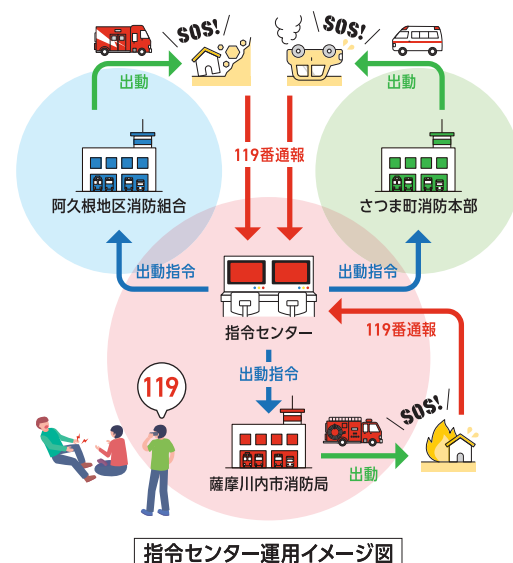
これまで、さつま町消防本部内にある通信指令室で119番通報を受信し、対応しておりましたが、共同運用後は「薩摩川内市消防局」内にある指令センターで受信し対応します。

Q2. 通信指令員の体制はどうなるの？

指令センターには、365日24時間「さつま町消防本部」の職員が必ず1名常勤しています。これまでと変わらず、安心して緊急時は、119番通報をしてください。

Q3. 災害案内番号は変わるの？

共同運用後は、災害案内番号は変わり「0996-24-0119」となります。これまで通り、さつま町内で発生した災害は、自動案内メッセージで場所・災害種別を確認することができます。



映像通報装置導入による効果は？
お手持ちのスマートフォンを使用し、現場の状況を映像で指令センターに伝える事ができます。現場の状況を映像で送信することで、言葉では説明しづらい現場の場所や状況を伝えることができます。また、応急手当が必要な急病人やけが人に対して、応急手当の映像配信が行えるようになり、通報者の安心と救命率の向上につながります。

映像通報装置の操作方法
スマートフォンから119番通報の際に、通信指令員が必要と判断したとき、映像送信を依頼することがあります。

- STEP 1 ショートメッセージを受け取る**
通信指令員から119番通報されたスマートフォンに、ショートメッセージを送信します。
- STEP 2 映像通報装置を起動**
メッセージを受信後、「URL」をタップし、映像通報装置を起動します。
- STEP 3 撮影開始**
ビデオカメラボタンをタップし、撮影開始。

❗ 撮影の際は、周囲の安全を確認してください。映像送信にかかる通信料金は、通報者負担となりますのでご了承ください。
※ 通信料金は、ご契約の通信会社やご契約プランにより異なります。事前の登録やアプリのインストールは必要ありません。

REQUEST

通信指令員からのお願い

消防車や救急車はサイレンを鳴らさないで緊急走行することはできません！

119番に間違えてかけてしまった時は、「間違いです」とはっきり伝えて！

消防は緊急の要請で出動し、いち早く安全に災害現場へ到着する必要があります。ご理解をお願いします。

何も言わずに電話が切れてしまった場合は、緊急の必要があると判断し、発信元の調査のため、消防車や救急車を向かわせることがあります。



お問い合わせ先
さつま町消防本部 警防課 通信指令係
TEL 0996-52-0119 FAX 0996-53-0119

POINT

119番通報する際のポイント

- 最初に火事や救急であることを伝える**
119番通報したら、まず「火事です」または「救急です」と伝えてください。
- 場所を伝える（消防車・救急車が向かう住所）**
（例）さつま町時吉366番地、さつま町消防本部です。
・さつま町で、消防車や救急車を要請する場合は、「さつま町」を必ず伝えてください。
・場所が分からない場合は、近くの目標物（建物の名称や交差点、バス停など）を伝えてください。
- 状況を伝える**
・火事の場合は、何が燃えているのか、逃げ遅れの方はいらぬのか、ケガをしている方がいるのか伝えてください。
・救急の場合は、傷病者の年齢、性別、どのような容態が伝えてください。
- 通報者の名前を伝える**
通報内容を確認したあと、最後に通報者の名前を伝えてください。

さつま町

防災

※ 令和6年度 さつま町 総合防災訓練写真

だより

vol.2



さつま町役場
総務課 危機管理係
0996-24-8913（直通）
so-kikikanri@satsuma-net.jp

自然災害から 身を守るために。

南海トラフ地震
にも備えよう!!

避難行動を決めておきましょう。

わが家のリスクは

- ☐ 旧耐震基準で家屋の倒壊が懸念
☐ 土砂災害 ☐ 洪水 ☐ その他
である。

わが家は

震度 で
 へ避難する。

風水害・土砂災害は

の情報を見て
 の情報が出たら
 へ避難する。

わが家と家族
の連絡手段は

防災行政無線をつけましょう

戸別受信機または屋外スピーカーで防災情報が
流れますので、確認ください。

緊急地震速報
(長周期地震動も含む)

気象等の特別警報
弾道ミサイル情報

大規模テロ、ゲリラ、特殊部隊攻撃情報など

※ 防災行政無線では町のお知らせもお伝えしています。
※ 放送をもう一度聞きたい方は「0996-52-1222」へお電話ください。
(放送後24時間以内に限り確認できます)



町貸与の戸別受信機

浸水検知センサについて

浸水検知センサは、過去に浸水被害に遭った
場所に設置しています。いち早く避難する
ためにも、登録をお願いいたします。

【浸水検知センサ通知の登録方法】

町公式LINE ▶ 防災 ▶ 浸水検知センサ通知登録
と進み、通知を受信したい場所のセンサを「オン」にする



通知を
「オン」に

通知 オフ/オン

地域防災力強化をめざす3つの取り組み

1 自主防災力強化事業 自主防災力を強化します

「毎回行っている訓練に補助金を活用しました。地震や避難に支援を必要としている方の確認などいつ起こるかわからない災害に備えています。(五日町公民会長)」
補助対象…防災訓練の経費、自主防災組織の結成、防災センターなどへの研修、地域の防災計画策定など



宝くじ助成事業による資機材の整備もあります

2 届出避難所運営事業 避難を地域で取り組みます

自治公民館などを避難所として登録し、避難する取り組みが始まっています。「地域内の人々が身近な場所で避難しているため、ストレスが少なく避難していると思います。災害の種類にもよりますが、今後も積極的に届出避難所を開設する予定です。(黒鳥公民会長)」



開設に対して町は補助金で支援しています

3 防災士資格取得支援事業 防災士が活躍します

災害時だけでなく、防災・減災の知識と意識のある防災士を町内で増やし、地域で活躍する場をつくれます。



防災士の研修費+旅費を補助します

避難の主体とは
(自助・共助・公助の役割)

災害による被害をできるだけ少なくするためには、一人一人が自ら取り組む「自助」、地域や身近にいる人同士が助け合って取り組む「共助」、国や地方公共団体などが取り組む「公助」が重要です。

NEWS

01 安全安心メールをリニューアル!

二次元バーコードから手続き
ください。(空メール送信)

天気、地震および川内川など防
災に関する情報をメールで受け
取ることができます。

メールの登録をお願いします。

※ 迷惑メール設定をされている方は
受信の設定が必要です。



日本語



その他の
言語は
こちら



やさしい日本語
(にほんご)



English
(英語)



Tiếng Việt
(ベトナム語)



繁体中文
(中国語 | 繁体字)



简体中文
(中国語 | 簡体字)



한국어
(韓国語)

NEWS

02 町総合防災訓練を実施

令和6年10月28日、消防本部、陸上自衛隊、県警察本部、建設業協会宮之城支部など約120人が参加し、本町で震度6弱の地震が発生し、複数の倒壊家屋や土砂崩れが発生したとの想定で、倒壊家屋からの救出訓練や転落車両からの救出訓練など様々な訓練を関係機関が連携して行いました。今回の訓練により、大規模災害への備えを再確認しました。



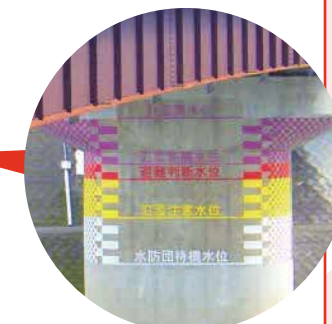
NEWS

03 山崎橋橋脚に危険度レベル表示を設置

近年多発・激甚化する洪水に備えるため、洪水時の警戒・避難判断として山崎橋橋脚への危険度レベル表示が設置されました。



山崎橋左岸橋脚 施工完了状況 (R6.3.6)



NEWS

04 災害連携協定を締結

令和6年10月23日避難行動要支援者制度に要録された要配慮者(主に精神障がいのある方)の安全確保のための避難施設として、新たに宮之城病院と災害連携協定を結びました。福祉避難所と協定を結んだ施設は現在7件あります。また、災害時における通信インフラの早期復旧などを目的に西日本電信電話(株)鹿児島支店とも協定を結び大規模災害に備えています。



宮之城病院との協定調印式

災害時の情報の入手方法について知っておこう



水害時に避難行動をとるためには、付近を流れる河川の水位の情報や雨量の情報、気象警報、洪水予報などを把握することが重要です。雨量や河川水位情報等の入手方法を確認し、普段から活用しましょう。



さつま町防災サイト



防災行政無線
(戸別受信機)



避難場所
(さつま町 HP)



気象情報



防災行政無線放送文



鶴田ダム管理所



外国人旅行者向け災害情報提供アプリ
Safety tips



さつま町

LINE 公式アカウント

友だち募集中!

